

アトピー性皮膚炎・ぜんそく 「最新治療を知って良くなるう」～講演会とQ&A～

2013年

5月26日(日)

14:00～17:00

(開場 13:30) 入場無料

フォーラムミカサ エコ (裏面地図参照)

東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル

●JR・銀座線 神田駅 徒歩 5分

●丸の内線 淡路町駅 徒歩 5分

●千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩 6分

●都営新宿線 小川町駅 徒歩 5分

主催 認定 NPO 法人 日本アレルギー友の会

後援 東京都 (予定) 一般社団法人 日本アレルギー学会

公益財団法人 日本アレルギー協会

第一部 講演



海老原 全 先生

1. 中国の大気汚染の日本におけるぜんそく患者への影響について

関東中央病院呼吸器内科部長・当会常任顧問 坂本 芳雄 先生

2. アトピー性皮膚炎の治療は変わってきたか

慶應義塾大学医学部皮膚科学
准教授 海老原 全 先生

3. 喘息治療のポイント～自分で喘息を管理しよう！

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科
病院教授 駒瀬 裕子 先生

◎講師紹介・Q&A司会

東京逋信病院皮膚科部長・当会常任顧問

江藤隆史 先生

関東中央病院呼吸器内科部長・当会常任顧問

坂本芳雄 先生



駒瀬 裕子 先生

第二部 講師を囲んでQ&A

現在の治療に満足していますか。不安なこと、不明点はすべて主治医とのコミュニケーションで解消されていますか。第二部は、アトピー性皮膚炎・ぜんそくのそれぞれのグループに分かれ講師を囲んでのQ&Aを行います。ご自身の不安や悩みを直接専門医に質問することができます。セカンドオピニオンを受ける絶好のチャンスです。

※来場者の方に治療情報冊子・敏感肌用化粧品のサンプルを差し上げます！

講師紹介

アトピー性皮膚炎の治療は変わってきたか

慶應義塾大学医学部皮膚科学 准教授
海老原全 先生

喘息治療のポイント～自分で喘息を管理しよう！

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科 病院教授
駒瀬裕子 先生

アトピー性皮膚炎はQOLに密接に関係する代表的な疾患です。その治療に関しては、いかにQOLを上げていけるかが大事だと考えております。

アトピー性皮膚炎の原因についてバリア機能障害が重要視される傾向にあります。フィラグリン異常に関する最近のデータを示し、バリア機能異常から考えた治療はどのように行うべきかについて述べます。またQOLの向上につながるプロアクティブ治療について紹介し、治療の目安としてのTARCについても触れます。

気管支喘息は、慢性の病気です。ずっとつきあっていかなければなりません。自分で自分の喘息の重症度を知り、それにあった治療や予防をすることが必要です。毎日の生活の中で、治療を継続することは決して易しいことではありません。時には治療を忘れてしまったりすることもあります。日常生活にどのように喘息の治療を組み込むか、悪くなったときにどうするかをしっかりと理解することが、喘息と正しくつきあうポイントとなります。

- 1986年 慶應義塾大学医学部 卒業
- 1986年 慶應義塾大学医学部皮膚科学教室入室
国立小児病院、清水市立清水総合病院、
東京電力病院出向を経て
- 1991年 慶應義塾大学助手（医学部皮膚科学）
- 1993年 慶應義塾大学病院診療科医長（皮膚科外来担当）
- 1996年 東京都済生会中央病院皮膚科医長
慶應義塾大学兼任講師（医学部皮膚科学）
- 2005年 慶應義塾大学専任講師（医学部皮膚科学）
- 2010年 慶應義塾大学准教授（医学部皮膚科学）
現在に至る

- 1980年 信州大学医学部卒業後
東京大学医科学研究所にて細菌学教室で研究
- 1984年 大学院終了
国立国際医療センター呼吸器内科レジデント
- 1989年 聖マリアンナ医科大学東横病院勤務
- 1992年 ドイツ ヴェルツブルグ大学に留学
～1993年
- 2001年 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科勤務
- 2013年 聖マリアンナ医科大学内科学（呼吸器・感染症内科）教授
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、病院教授
藤田保健衛生大学非常勤准教授、昭和薬科大学非常勤講師

<参加申込・お問合せ先>

認定NPO法人 日本アレルギー友の会

TEL 03-3634-0865

FAX 03-3634-0850

<http://www.allergy.gr.jp/>

E-mail j-allergy@nifty.com

毎週火曜日・土曜日 11:00～16:00

5月20日から5月25日は毎日受付

<講演会会場>

フォーラムミカサ エコ

〒101-0047 千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル

TEL 03-3291-1395

